

加納久宜公の90回目の

ご命日に墓所を清掃

2月26日は大正時代に殿様町長として全国に知られた加納久宜公の90回目のご命日にあたりります。この日、城山にある墓所を住民有志が訪れ、落ち葉の清掃を行いました。加納さんが亡くなったのは、大正八年(1919年)、六女夏子さんの嫁ぎ先であった麻生家(麻生太郎首相の実家)の別荘(別府)で療養中の時のことでした。さまざまな分野で一宮町の発展に尽くされた加納元町長の業績を知ろうと、「加納久宜公とその当時の一宮」をテーマに、百回忌まで10年にわたる長期の調査・研究活動を進める計画が町民有志によって話し合われています。



墓所の清掃には玉川町長も参加
*毎月第4木曜日、「おらがまち探検隊～文化財保存体験～」という企画で、町内各地の史跡の清掃を行っています。日程等詳細については町ホームページをご覧ください。



新しい救急車が

導入されました

南消防署に新しい救急車が1台更新され、2月24日、保健センター前の駐車場で納車式が行われました。

新しい救急車は、観察用資器材、心電図、医療用酸素救命セットのほか、AED(自動体外式除細動器)も搭載している高規格救急車です。



子育てママと井戸端会議

町内の子育てママたちが集まった138(いちのみや)子育てネットワーク主催の町長懇談会が、中央公民館和室で開かれました。

「ザ・井戸端会議」と銘打ったこの懇談会は、子どもを連れた子育て奮闘中のママさんたちによる、子育てへの本音トークが満載の座談会でした。

また、この座談会には役場で子育て福祉の業務を担当している職員も同席し、ママさんたちからの質問に答えるなど、とても有意義な懇談会になりました。



宮原地区の皆さんと懇談会

宮原地区住民による町長懇談会が、3月1日に南宮神社隣の宮原集会所で開かれました。

この日は冷たい雨が降る中、たくさんの方が詰め掛け、会場は参加者でいっぱいでした。

懇談会では、玉川町長が就任以来の町政の進捗状況と3月の議会定例会に提出する新年度予算の概要を説明しました。

また、参加者からは合併問題、地域防災、職員の意識改革、税収に対する考えなど、さまざまな質問や要望が出され、活発な意見交換がなされました。

水神社 春祭り

船頭給興営住宅の東にある水神社では、毎年3月の第1土曜日に春祭が行われ、獅子舞が奉納されます。今年3月7日に祭が行われました。

この獅子舞は二人舞で、家内安全、五穀豊稔を祈って悪魔払いをします。獅子の頭は立派で風格があり、耳を立て、悪魔を払うときの獅子の形相は迫力があります。

この日は同じ船頭給にあるグループホーム「なのはな」に獅子舞が登場し、舞を披露しました。



副町長に芝崎 登さん(11区)

3月6日に開かれた第1回一宮町議会定例会において、去年7月末以降不在だった副町長の選任につき同意を求める人事案件で一宮町一宮の芝崎 登さんが提案され、投票による採決の結果、全員賛成で、議会の同意を得ました。

教育委員に松村 真智江さん(絹田区)

また、同議会で教育委員会委員に、一宮町絹田の松村 真智江さんが提案され、投票による採決の結果、賛成13票、反対1票の賛成多数で議会の同意を得ました。



芝崎 登さん



松村 真智江さん

町長会だよりNo.4



一宮町長 玉川 孫一郎

夜間救急医療の空白日が解消されます

昨年、東浪見地区にお住まいの女性から私が、実際に聞いたお話です。夜、ご主人の容態が急に悪化したため救急車を呼んだそうですが、受け入れる病院が見つからず、50分以上も自宅の前に車が止まっていたまま、やっと市原の病院に搬送されたというお話です。

長生郡市では、深刻な医師と看護師の不足(注)により、平成18年7月から夜間に救急患者を受け入れる病院がない、いわゆる空白日があり、三分の一にあたる11日も生じていました。

(注)10万人当たりの医師の数は、全国平均217人ですが、千葉県平均は159人、長生夷隅地域はわずか95人です。看護師は全国平均635人、千葉県平均438人、長生夷隅地域は222人です。

このような状況を解消するために、長生郡市広域市町村圏組合では、医師会とも協力して、平成20年7月に長生郡市救急医療体制検討委員会を立ち上げ、協議検討を重ねてきました。

昨年の12月14日には、組合主催の地域医療フォーラムが開かれ、約650人が参加して、救急医療の現状と課題について共通の認識がはかられました。

その結果、住民の安心、安全を確保するため、市町村の負担金を増額して、医師と看護師を雇い上げることによって平成21年度から空白日を解消する目的が立ってまいりました。公立長生病院と菅原、尖倉、山之内、福島記念クリニックの4つの民間病院が提携し、ローテーションをくんで夜間の救急患者を受け入れられます。市町村の負担金は大幅に増額となりますが(21年度の一宮町の負担金は8,200千円増の13,446千円です)、地域住民の健康と生命にかかわる問題であり、これからも全力で取り組んでまいりたいと思います。

